

氏名：成田 聖（なりた さとし）

所属：建築・設備工学科

職名：准教授

所属学会・協会：日本建築学会，建築史学会



研究分野

- ・建築史学(歴史的建造物)
- ・博物館学
- ・デジタル表現

キーワード

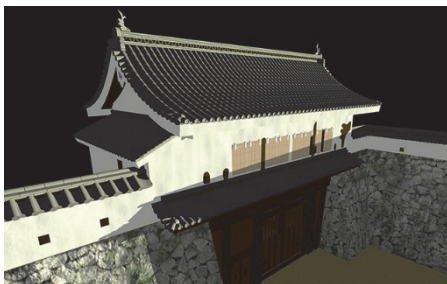
歴史的建造物、城郭、御殿、町並み調査、リノベーション、3D-CAD、BIM、博物館学、ASURA

研究概要

歴史的建造物や町並みにおける建物調査、文献調査、運営システムの考案や、地域の在り方自体を見つめなおすリノベーションの研究と活動をおこなっています。また、歴史とデジタルの融合も探りながら研究をおこなっています。

研究シーズ、テーマの内容

建築史学とは建築の歴史を紐解き、歴史的な謎に挑み、当時の人々の考え、背景などと合わせて明快に説明し、建築の歴史のみならず、地域社会の文化の正しい理解や未来に役立てる学問で、研究では歴史的な町並み調査や建物調査をおこなっています。また、古い空き家を活用するアイデアやリノベーションを提案していく活動も合わせて行っています。こうした調査成果の公開には、3D モデルでの再現などをはじめとするVR技術の活用など、新たなわかりやすい表現手段を常に模索しています。一見すると相反するような、歴史と最新技術の境界領域が私のフィールドとなっています。



3D-CAD を用いて復原した建造物



研究業績(著書・論文・その他の活動)

- 1.「大内宿の民家と集落」下郷町教育委員会，2018.
- 2.「福岡市史 特別編『福岡城』」福岡市史編纂室，2013.
- 3.建築・設備工学科 プロジェクト「ASURA」，2018～.
- 4.広川町空き家対策リノベーション プロジェクト提案・協働作業 2017.

技術応用分野・特許・共同研究実績など

(技術応用分野)

- ・歴史的建造物
- ・町並み調査／見直し調査
- ・博物館運営
- ・3D-CAD

企業の方へのメッセージ

スキルの多様性、多くの学生との共同作業、アイデア提案には一定の自信をもっております。様々な種類のプロジェクトをこなしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

提供可能な設備機器(名称・詳細)

研究室の設備として、formZ、BIM(Archicad)、などがあります。

1. formZ (アルティマグラフィックス 8.5Pro)
2. ArchiCAD (グラフィソフト)